

女性の総合相談

DV、夫婦や親子の問題、生き方、人間関係に関する相談など

■東京ウィメンズプラザ

TEL 03-5467-2455 毎日9時-21時 (年末年始は休み)

■女性相談センター多摩支所

TEL 042-522-4232 月~金曜日9時-16時 (土日祝・年末年始は休み)

■青梅市役所

TEL 0428-22-1111 月~金曜日8時30分-17時 (土日祝・年末年始は休み)

女性のためのカウンセリング「はればれ」

毎月 第1・第3金曜日(祝・年末年始は休み)

①9:30 ②10:30 ③13:10 ④14:10 各50分

※青梅市市民安全課(TEL 0428-22-1111 内線2325または直通電話 0428-22-2816)で事前予約をしてください。

男性のための悩み相談

■東京ウィメンズプラザ

TEL 03-3400-5313 月・水・木曜日 17時-20時 土曜日 14時-17時 (祝・年末年始は休み)

※男性相談専門の相談員が対応します ※面談相談も可 上記電話にて予約をしてください

Tokyo LGBT 相談

■東京ウィメンズプラザ

TEL 050-3647-1448 火・金曜日 18時-22時 (祝・年末年始は休み)

※性自認及び性的指向に関する様々な悩みや不安について、ご本人又はご家族等からの相談を受け付けています

DVに関するLINE相談

■ささえるライン@東京

【利用方法➡】



毎日14時~20時 (年末年始・7月第3日曜日は休み)

よつばの手紙

2024.10

No. 31

多様性ってなんだろう！

生理用品の配布をしています

経済的な理由などで生理用品を十分に入手できない女性を支援するため、生理用品を配布しています。

配布場所

- 市民安全課(青梅市役所本庁舎3階)
■地域福祉課(青梅市役所本庁舎1階)
■こども家庭センター(青梅市健康センター内)

配布方法

- ▶午前8時30分から午後5時まで
▶配布窓口に設置したカード、またはスマートフォンでカードのイラストを画面表示し、職員に提示してください
▶お問い合わせは青梅市 市民安全課(内線2325)まで



編集後記

泉中学校の取材を担当しました。私が中学生の頃にも、制服に対する取り組みがあったかもしれない。今後、多くの教育機関で多様な取り組みを実施していくのだから今回の取材を通じて思いました。(星野)

誰も取り残さない社会を目指して不登校の子どもの居場所作りをされている人たちの姿に感銘を受けました。子どもの自己肯定感を育む大切さが分かりました。(吉野)

インクルーシブな社会の実現に向け、様々な取り組みを通して、情報を発信し続けていくことが大切だと感じました。(土肥)

取材する中で聞いた「さまざまな人に寄り添う思いで接客しよう」という言葉。そんなmaru.+BEANS CAFEに足を運んでいただけたら嬉しいですね。(三川)
取材を元に文章を書くことは、自分にはない視点からの思考や見聞が広がり、新たな気づきと執筆の楽しさを与えてくれました。大変エキサイティングな経験となりました。(網野)

よつばの手紙は、「青梅市ジェンダー平等推進計画」にもとづき、ジェンダー平等参画の実現を目指し、編集委員と青梅市職員が協働で編集・発行しています。ぜひ、皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

表紙は特集のカフェにある様々なコップの写真です。(2024.9.18 編集委員撮影)



よつばの手紙 バックナンバーはこちら

無断転載を禁じます

特集 「誰もが集える場所 maru.+BEANSCAFE」

- ・ 行ってきました フリースクール Rainbow room/マイコン博物館/青梅市立泉中学校
・ 市内企業レポート ・ さんかく図書室

Rainbow Room

し い ン ボ - ル - ル ム

2024. 7. 5 編集委員取材



対象：小学生、中学生、高校生

～誰も取り残さない社会を目指して～

Rainbow Room は、2020年青梅市新町にNPO法人青梅の虹 any(代表 松原陽子)が開いたフリースクールです。さまざまな理由で、不登校や引きこもりになった子どもの居場所となっており、学校に行けない自分を責めてしまわないよう、単なる居場所ではなく「フリースクール」としました。

主なスタッフは、子ども発達支援専門員資格を持つ3人(介護福祉士と栄養士の資格あり)、他に看護師、保育士、不登校経験のある10、20代の若者などのボランティア、理科教員免許取得者、プログラミングの講師など、スタッフが最新の研修を重ね実践に活かしています。

★東京都からフリースクール等に通う保護者に補助金が出るようになりました。詳細は参照ページを御覧ください。➡ <https://tokyo-fs-support.metro.tokyo.lg.jp/>

★訪問支援も

引きこもりなど、自宅から知らない人がいる場所に来られない子どもには、顔合わせの始めの一歩として、スタッフがご自宅に顔を見せに行く訪問支援なども、可能です。

なお、訪問支援が必要と判断した青梅市内在住の子どもに限らせていただきます。

活動時間

月曜日→ ごく少人数支援 (午前/午後)

火曜日→ フリーデー

(特別な活動がなく人数制限や子どもの組み合わせ調整など行わない日)

水曜日→ ごく少人数支援 (午前/午後)

木曜日→ ごく少人数支援 (午前/午後)

金曜日→ ごく少人数支援 (午前/午後)

※工作や調理、ボードゲーム、プログラミング、外遊びやおでかけ、マルシェへの出店などの地域活動も行っています

※自分の興味関心のある日に予約することができます

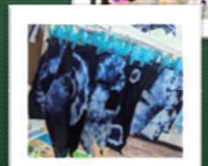
活動写真



調理体験



川遊び



藍染体験

利用料金

小学生 月額15,000円+1回4,000円
(フリーデーは3,000円3時間)
主に10時から13時まで

中学生 月額15,000円+1回3,000円
(フリーデーは2,000円3時間)
主に12時から15時まで
◎完全個別支援4,000円/1時間

高校生 月額5,000円+1回2,000円
主に12時から15時まで

※兄弟割引、シングル割引
※東京都の補助金制度あり
詳細は RainbowRoom にお問い合わせください

電話：090-9134-3482

不登校や引きこもりになった子どもたちには、その子どもの凸凹の凸に注目して、一人ひとりの強みが引き出されるとともに、困りごとや凹に注目して、社会生活で困難が減るような援助要求スキルや代替え方法を早期に身につけられる自宅以外の場所が必要です。

Rainbow room では、社会の中で学ぶことが子どもの成長に必要な不可欠であると考え、子ども一人ひとりに合わせた活動工程を考えた手順書を作成し、自己肯定感を高める支援を行っています。

フリースクール Rainbow Room (NPO 法人 青梅の虹 any)

青梅市新町1-4-17-101 電話：090-9134-3482 (月～金曜日・午前10時～午後3時まで)

ホームページ：rainbowroom7.wixsite.com

写真提供：NPO 法人 青梅の虹 any

株式会社 酒井組

2024.8.1 編集委員取材

時代を突き進む
確かな技術と堅い組織力を理念とし
「地域と共に企業を育てる」

株式会社酒井組は、130年続く土木建設業の会社です。主に公共工事(橋・川・道路・のり面など)を施工しています。創業以来の技術である石積工事を得意とし、現在ではブロック積工事にも定評を得ています。近年はドローンを使った事業を展開しています。

また、地域とのつながりとして、毎月第二日曜日に「駐車場で逢いましょう」(二俣尾マルシェ)という地域のイベントを開催しています。子どもから、年配者までが気軽に集まれる場となっており、地域防災・防犯の観点から重要な取り組みの一つと考えています。

ワークライフバランス

完全週休2日制にもとづき、ONとOFFの切り替えがはつきりしています。仕事の繁忙期には残業もありますが、それ以外は定時退社を基本としています。定時退社には、「自分の時間を充実させてほしい。」という気持ちが詰まっています。



須田晶子(代表取締役)
株式会社酒井組
青梅市二俣尾3丁目
創業 1894年(明治27年)
従業員 15人
<https://sakaigumi.tokyo/>
写真提供：株式会社酒井組



みんなが安心して笑顔でいられる会社
弊社は小さな企業です。小さくてもいい、と考えています。小さくて、しっかりしていればいい。
無理して大きな企業体にすることなく、地域に根付いた信頼のある企業。先代も先々代も創業者も、大きな仕事を夢見ながらも、無理な営業展開をせずに地域と共に企業を育ててきました。

今後について
130年の歴史が今後さらに続いていくように、未来のある子どもたちが地元企業で活躍できるような環境作りを心掛けていこうと考えています。伝統技術と先進技術を上手に融合できるように精進していきたいです。

さんかく図書室



子どもたちはみんな
多様ななかで学びあう

佐々木サミュエルズ純子(著)
株式会社せせらぎ出版
コミュニティ・パブリッシング
事業部

障がいのある子どもたちだけでなく、多様な背景を持つ子どもたちが差別されることなく一緒に学べるような環境を、人とつながりつくり上げていく大切さを「周りの大人が子どもたちから学んでいく」そんなインクルーシブ教育の大切さを感じるこの一冊です。

★青梅新町図書館に所蔵しています 青梅新町図書館 ☎0428-34-8972



誰もが集える場所

特集

マルドットプラスビーンズカフェ

「maru.+BEANS CAFE」へようこそ

車いすやベビーカーを使用の人、障がいを持っている人、認知症の人、外国の人、犬を連れてきた人などさまざまな人が集える場所を目指しているカフェに行ってきました。

写真提供 室井美香



新鮮な地元の食材を使った

ドリンク&フード



バリアフリーの店内

写真提供 神山恵美

▼ 店舗外観



写真提供 室井美香

『まちがえても maru カフェ』

2022年から、不定期でこの場所を借りて開催されているカフェ。この日は認知症の人がホールスタッフを勤めます。料理名を忘れてたり、届ける席を間違えたりすることがあるかもしれませんが、誰かの間違いを指摘するのではなく、「まあ、いいべ。とりあえず笑おう！」と丸く受け止める。そんな取り組みです。

認知症の人たちの包容力、コミュニケーション能力の高さ、個々の魅力が発揮される機会となっています。

まあいいべとりあえず笑おうプロジェクト

2次元コードからイベントの情報がご覧いただけます♪



写真提供 室井美香

問合せ:080-1619-6582(担当 橋本・吉永)

<https://maiibee2023.wixsite.com/maru>



外観インテリア

写真提供 室井美香

いとゆうこ
カフェで働く糸井優子さんに
お話を聞きました。



2024.7.25 編集委員取材 撮影/編集委員

このカフェでは、誰もが“ここにいいんだよ”といえるような、誰もが“ここにいいんだね”と思ってもらえるように、そんなメッセージを込めた接客をしています。

お客様だけでなく、私自身も助けていただいた経験があります。中耳炎になり耳が全く聞こえなくなった時には、外に出たくないほどの不安感を抱えていました。このことを、お客様に話したところ、注文の際に近くまで来てくれたり、ジェスチャーで伝えてくれるなど、多くの場面で助けていただきました。このように不安やさまざまな事情で外に出づらいつ感じている方にこそ、助け合える世界をこのカフェで感じて欲しいと思います。

また、お客様に限らず、例えば通学中のお子さんが何か困った時には、SOSを出せるような誰にとっても安心できる場所でありたいとも思っています。



写真提供 編集委員

▲外テラスでは
オリーブの木が出迎えてくれます



写真提供 神山恵美

▲ワンちゃんと一緒に
ランチを楽しめます



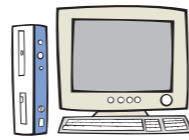
写真提供 編集委員

▲ゆっくりくつろげる
広々とした店内

- 営業日時 火曜日～日曜日(祝日も営業) 11:00～15:30
- 店舗所在地: 青梅市駒木町 1-843(バス停駒木町から徒歩すぐ) ☎ 0428-84-0260

カフェの Instagram はこちら↓

https://www.instagram/maru.plus_beans_cafe/



2024(令和6)年はじめに東青梅から青梅駅前に移転し、当年7月にリニューアルオープンしたマイコン博物館。
館長の吉崎武さんにお話を聞きました。 2024.8.1 編集委員による取材と写真撮影

マイコン博物館ってどんなところ？

個人用のコンピュータを集めて展示している私設博物館です。「マイコン」というのは、本来初期の8ビットコンピュータを指す言葉ですが、個人用の「My Computer」をかけてマイコン博物館と呼んでいます。

何ができるところ？

コンピュータの歴史について学ぶことができ、古いコンピュータを実際に動かす体験もできます。コンピュータの原理を理解できることで、最新のコンピュータへの理解もより深めることができます。マイコンが懐かしい人はもちろん、未来に活躍する地元の小中学生にも来館してほしいです。



営業日時

12:00 開館～18:00 閉館(最終入館時刻 17:00)

休館日 毎週水曜日 + 予約が入っていない日

利用方法

利用希望日前日の18時までの予約が必須です。予約ページへは右の2次元コード、またはサイト内「利用予約入力ホーム」から予約してください。

※予約なしに来館されても入館できません。
※他のお客様の利用時間帯へのご来館は固くお断りします。



入館料(1日利用券)

大人・大学生……1,000円(税込)
高校・中学生……500円(税込)
小学生……無料
*保護者同伴(有料)が必要です。

障害者手帳、情報処理学会会員証提示で
1日利用券 50%割引

オプションで動態展示機材の操作体験もできます。

-詳細はホームページをご覧ください-

10代は、人生にとって一番大切な時期

館長 吉崎武



10代の時間をどう使うかで今後の人生を左右するといってもいいでしょう。今の親の世代は、高学歴が高収入へとつながり幸せになれるという価値観で生きてきましたが、それではもう立ち行かなくなっているし、実際の日本の衰退がそれを物語っています。受験勉強に全力を注ぐことだけでは何らかの成果を出すことは難しいでしょう。

大切なのは、10代の間に学問の楽しさを感じることで、自分の特色を伸ばすために時間を使うことです。自分にしか出来ないことをとがらせていくことで、より良い人生が手に入ることでしょう。今後の展望は、主に10代の子どもの才能を伸ばす場となっていくこと、そして大切な歴史を次世代につないでいくことです。

生徒自ら選択ができる制服ができました！

2023(令和5)年度から、新たな制服を導入した青梅市立泉中学校。前年度から導入の検討が始まり、生徒や保護者、小学校などにアンケートをとりました。

「選択できることを大切にする」ということを重視し、学校だけで決定しないように意見を聞きました。「従来の制服は男女別に分かれており、時代に合うような制服が良い」や「男子用制服が暑い」などといった声から生まれたのが新制服です。従来の制服にもあったグリーンを生地に取り入れています。

生徒からは、「以前の制服よりも機能性が上がって動きやすい！」と声があがっているそうです。この制服が選択できることに対する混乱などは、アンケートの段階から特になく、生徒や保護者に受け入れられています。



▲新しく導入された「生徒が選択できる制服」

2024.7.17 編集委員による取材と写真撮影

青梅市・青梅市教育委員会主催 ジェンダー平等講演会

「行ってみよう！聞いてみよう！よっちゃんのこれでいいんだ」



2024年3月23日 青梅市役所2階会議室、市社会教育課撮影

よつばの手紙30号で、「トランスジェンダー当事者の声」を記事として掲載した白井良佳さんの講演会が、2024(令和6)年3月23日に市役所で開催されました。講演ではLGBTQ※についての説明があり、性別は男と女だけで区別できるものではなく多種多様であり、その区別ははっきりせずグラデーションのようなものである、という話がありました。

また、本紙では伝えきれなかった当事者の思いや、女子学生だった頃の心の葛藤を話され、「涙を流して聞いて下さる方がいて本当にうれしかった。ありのままを受け入れることが何より大切だ。」と強調されました。

LGBTQに限らず生きづらさやさまざまな悩みのヒントにつながる内容であり、アンケートでは「多様性を考えるきっかけとなった」「偏見のない世界が広がってほしい」などの声が寄せられました。

※ LGBTQ Lesbian(レズビアン=女性同性愛者)、Gay(ゲイ=男性同性愛者)、Bisexual(バイセクシャル=両性愛者)、Transgender(トランスジェンダー=生物学的性別と性自認が異なる人)、Questioning(クエスチョニング=性的指向・性自認が定まらない人)の頭文字をとった略語で、いわゆる性的少数者(セクシュアルマイノリティ)の総称。